

# 議事録

- 1 開会
- 2 開会の挨拶  
(1)教育長 (2)会長
- 3 学校長挨拶
- 4 協議・報告  
(1)今年度の振り返り  
①令和3年度入谷小学校CSの取組について (教諭 佐々木大亮)  
②令和3年度学校経営プラン達成度について (校長 佐々木裕作)  
③保護者アンケートを基にした振り返り (主幹教諭 小野寺孝夫)  
(2)来年度に向けて  
①令和4年度学校経営方針の説明・承認  
②令和4年度学校運営協議会委員について
- 5 その他
- 6 閉会の挨拶 副会長
- 7 閉会



## その他 (情報交換等) (一部省略)

【佐々木大亮 教諭】

● 令和4年度第1回学校運営協議会は4月中旬から下旬に予定している。

【山内利也 委員】

● 防災学習について、志津川高校の「震災記録」を活用してはどうか。小学校と高校の繋がりも出てくるのではないかと。

● ラムサール条約や海や山に関する事など、各分野で小学校へ来て、話をしたい方はたくさんいるため、声を掛けてほしい。

【齊藤明 教育長】

● 震災時、小学校1年生だった子供がこの3月に高校を卒業した。震災を知る子供たちがいなくなり、命を守ることができる防災教育に力を入れて、風化を防ぐ必要がある。

● 山内さんには、力強い言葉をいただきありがとうございます。南三陸の魅力的な「人」や「もの」をさらに活用していきたい。

【山内敏裕 委員】

● 区長会、小学校PTA会長、ひがし幼稚園の代表と共に小学校の登校坂道路拡幅工事の陳情をした。町には早めに工事してほしい。

【阿部國博 会長】

● 今年度の夏は、(感染症拡大防止のために)中止になった保護者とグリーンウェーブ、地区との合同奉仕作業をぜひ実現したい。

★ コロナ過ということもあり短時間で中身の濃い話し合いになりました。委員の皆様、ありがとうございました。

# 地域とともにある学校へ



3月3日(木)午後6時30分より今年度第3回となる入谷小学校学校運営協議会が開催されました。会議には、阿部國博会長はじめ協議会委員15名中13名と設置者の教育委員会から齊藤明教育長はじめ4名の方々が出席して、今年度のコミュニケーションスクール活動の反省と来年度の方向性について話し合われました。齊藤教育長からは「来年度に向けて、地域とともにある学校のために御意見をいただききたい。」阿部会長からは「各活動を地域でどのように実現していきたいのかを考えたい。」校長からは「(本日の)御意見を来年度の教育計画等に反映していきたい。」との挨拶がありました。今回は、校長から来年度の学校経営方針が説明され、全会一致で承認されました。

### 全会一致での承認



第42号  
発行元  
入谷小CS推進  
委員会編集部



ホームページへのQRコード

### 伝統の技を引き継いで

2月22日(火)2・3校時、ひこりの里シルク館の田中定子様を講師にお招きして、4年生が繭細工体験を行いました。自分たちで育てた蚕の繭を自分たちで染めたものを使用しました。田中様ももってきた作品例を見たり、タブレットを利用してインターネット検索して自分の作りたい作品を見つけたりして工夫を凝らして一生懸命に取り組んでいました。各々が個性あふれる作品(写真左下)を製作していました。養蚕が盛んに行われていた入谷地区の昔ながらの技術が子供たちへと繋がれている時間となりました。



個性あふれる作品

「消防署と入谷小学校消防クラブからお知らせします。…」のアナウンスから始まる令和4年春季火災予防運動広報文が、入谷小学校の児童により消防車両の巡回広報で流されます。2月14日(月)の放課後に南三陸消防署の菊池署員、木皿署員、梶原署員の3名が来校して児童のアナウンスを収録しました。当日は、少年消防クラブ6年団長、副団長、5年副団長の3名が広報文のアナウンスを行いました。この広報は、来る3月1日(火)から1ヶ月間広報されることになります。皆様も子供たちの声をよく聞き火災予防に努めてください。

